

Logitech Bluetoothバージョン2.1対応

Bluetoothステレオスピーカー

LBT-MPSP100シリーズ

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、Bluetoothステレオスピーカーの使用方法や、安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。

本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

接続のときに必要な情報です。

- 携帯電話やオーディオプレーヤーなどから検索するときの本製品の名称 **LBT-SP100**
- パスキー ※ **0000 (ゼロ四つ)**

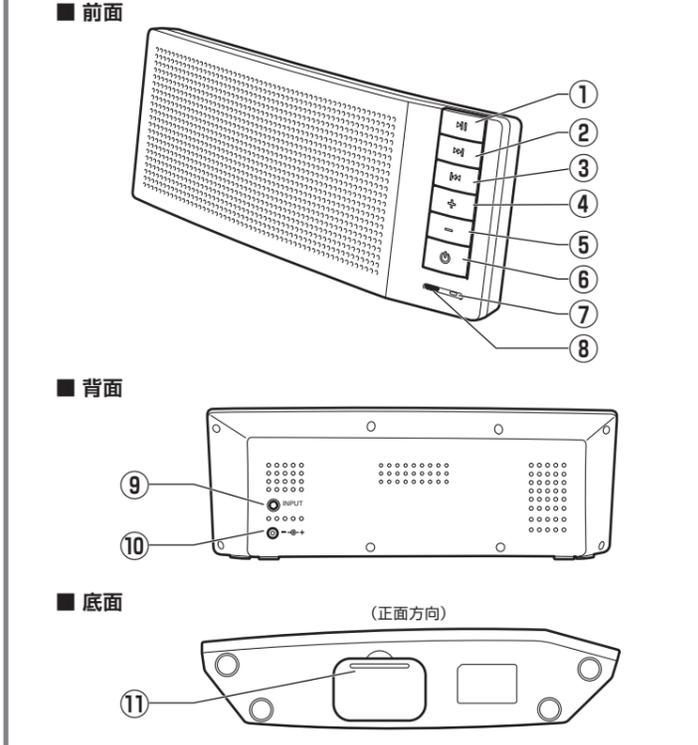
※ パスキーは、Bluetooth2.0以下の規格の機器と接続する場合に必要です。

製品の特長

本製品はBluetoothスピーカーです。Bluetooth対応の携帯電話、スマートフォン、オーディオプレーヤーなどの機器とペアリングすることで、ペアリングした機器に格納された音楽をお楽しみいただけます。ヘッドセットプロファイル (HSP) およびハンズフリープロファイル (HFP) に対応しており、ハンズフリー通話もできます。また、高音質な「apt-X」コーデックに対応しており、apt-X対応機器との組み合わせで、よりよい音質で音楽をお楽しみいただけます。「Bluetooth 2.1」規格に対応した機器とは、パスキー入力なしで簡単にペアリングできます。

- 外部入力端子を搭載しており、Bluetoothに対応していないオーディオプレーヤーの音楽もお楽しみいただけます (Bluetooth機器と同時に使用できません)。
- マイクを内蔵しており、クリアな音声で会話が可能です。
- ACアダプタだけでなく、乾電池 (単3型×6本) でも動作しますので、アウトドアなど様々な場所でご利用いただけます。

各部の名称とはたらき



電池を入れる

本製品は、乾電池でも動作します。あらかじめ市販の単3乾電池を6本用意してください。

● アルカリ乾電池の使用をおすすめします。

● 電池を入れ替える際は、すべて新品の電池にしてください。古い電池を混ぜないでください。

- 1 本体の電源を切ります。**
- 2 本体底面の電池ボックスのカバーを外します。**
 - カバー横の凹みに指を掛け、手前方向に引くと外れます。
- 3 電池ボックスに乾電池を入れます。**
 - 左の図に示す向きに電池をセットしてください。プラス/マイナスの向きを間違えると、本製品は動作しません。

本体底面 ↑ 前面方向
- 4 電池ボックスのカバーを元に戻します。**
 - 本体の電源/マルチファンクションボタンを長押し、電源が入ることを確認します。電源が入らない場合は、電池が正しい向きに入っているかを確認してください。

パッケージ内容の確認

- 本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。
- | | | | |
|---|----|--------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> Bluetoothスピーカー本体 | 1台 | <input type="checkbox"/> オーディオケーブル | 1本 |
| <input type="checkbox"/> ACアダプタ | 1個 | <input type="checkbox"/> 取扱説明書(保証書付) | 本書 |
| <input type="checkbox"/> 簡単ペアリングガイド | 1枚 | ※ 乾電池は付属していません。 | |

① 再生/一時停止ボタン*	接続機器の音声を再生/一時停止します。 ▶
② スキップボタン*	次の曲にスキップし、曲の最初から再生を始めます。 ▶▶
③ リwindボタン*	前の曲にスキップし、曲の最初から再生を始めます。 ◀◀
④ 音量ボタン (+)	音量を大きくします (ペアリング確認音などは変更できません)。
⑤ 音量ボタン (-)	音量を小さくします (ペアリング確認音などは変更できません)。
⑥ マルチファンクションボタン	本体の電源オン/オフ、接続機器とのペアリングをおこないます。
電源オン/ペアリング	LEDランプが青色に点灯するまで (約4秒) 長押しすると、電源が入ります。その後、直前まで利用していた機器に接続を試みます。LEDランプが赤色と青色に交互に点滅するまで (約8秒以上) 長押しすると、ペアリングモードになります。周囲にペアリング済みの機器がない場合は、約5分後に電源がOFFになります。接続が完了すると、LEDランプがゆるやかな点滅 (数秒に1回1秒程度の点灯) に変わります。
電源オフ	電源がオンのときに4秒以上長押しすると、LEDランプが点滅したあと、電源がオフになります。
⑦ マイク	音声を入力するためのマイクです。
⑧ LEDランプ	電源やペアリングの状態を示すLEDランプです。
⑨ 外部入力端子**	Bluetoothに対応していない外部機器を接続します。付属または市販のφ3.5mmステレオミニケーブルで、接続機器のLINE OUTまたはヘッドフォン端子と接続します。外部入力端子に機器を接続すると、Bluetooth機器との接続は自動的に解除されます。ボリューム調整は、接続機器側でおこなってください。
⑩ 電源コネクタ	付属のACアダプタを接続します。必ず本製品に付属のACアダプタを使用してください。
⑪ 電池ボックス	別売りの単3型乾電池を取り付けます。

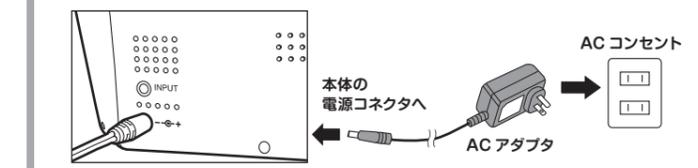
* AVRCPプロファイル対応機器のみ有効です。
** 接続機器によっては正常に動作しないこともあります。

STEP 1 ペアリングします

本製品を使用するためには、ご使用になる機器とペアリング (初期登録する作業) をおこなう必要があります。ペアリング対象機器の操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

- ペアリング情報は、8つまで記憶できます。8つ以上登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1」に準拠しています。対応機器と接続する場合は、パスキーの入力を省略できます。

1 付属のACアダプタを本体に接続し、ACアダプタのプラグをコンセントに差し込みます。



2 マルチファンクションボタンを押し続けます。LEDランプが赤/青色交互の点滅に変わったら (8秒以上)、ボタンから手を離します。

- 本体の電源がオンになっている場合は、いったん電源を切ってから操作してください。

ボタンを押し続けている8秒間に、LEDランプの表示は次のようになります。

青点滅 (電源ON) → 赤青点滅 (ペアリングモード)

ボタンを押し続けている途中で起動音が鳴りますが、そのままボタンを押し続けてください。

3 ペアリングしたい機器から、本製品を検索します。

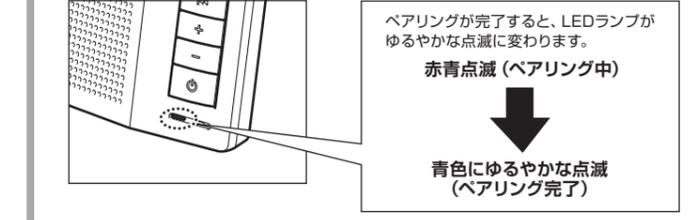
- 検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。

4 ペアリングしたい機器から本製品が見つかったら、デバイス名「LBT-SP100」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。

通常は、A2DPプロファイルでペアリングされます。携帯電話と組み合わせて、携帯電話の機能を本製品で使用する場合は、ハンズフリープロファイル(HFP)でもペアリングしてください。ハンズフリープロファイルがない場合は、ヘッドセットプロファイル (HSP) でペアリングしてください。

5 パスキーの入力を促すメッセージが表示されたら、「0000」(ゼロ四つ) と入力します。これで登録作業は完了です。

- 機器によっては (Bluetooth 2.1対応機器)、パスキーを入力しなくても登録が完了する場合があります。



6 機器によっては、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

1度ペアリングすると、以降は自動的に接続されます。

これでペアリングは完了です。Step2 「音楽を再生します」に進んでください。

STEP 2 音楽を再生します

ペアリングした機器を操作して音楽を再生します。スピーカーから正常に音楽が再生されれば、本製品の設定は完了です。音量設定などの詳しい操作方法は、「基本操作」をお読みください。



基本操作 (共通)

携帯電話とペアリングしたときの操作については、ウラ面の「基本操作 (携帯電話と接続するとき)」をお読みください。

本体の電源オン/オフ

■ 電源オン
マルチファンクションボタンを、LEDが点滅するまで (約4秒) 長押しすると、起動音が鳴り、電源がオンになります。
携帯電話より「LBT-SP100からの接続を許可する」操作や、「接続」操作が必要な場合があります。

■ 電源OFF
電源を切るには、マルチファンクションボタンを4秒以上長押しします。LEDランプが赤色に点滅したあと、消灯して電源が切れます。

オートパワーオフ機能について
電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合は、ペアリング待ち状態になります。そのまま約5分経過すると、自動的に電源がオフになります。
※電源がオンの間は、LEDランプが青色にゆるやかな点滅を続けます。

接続機器の操作

- ボリューム調整
本製品の音量ボタンでおこないます。本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。
- 再生/一時停止
再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、接続先の音楽も一時停止します。もう一度再生/一時停止ボタンを押すと、音楽の再生に戻ります。
- スキップ/リwind
再生中に押すことで、1曲後、1曲前に移動し、曲の最初から再生を始めます。

→ ウラ面も必ずお読みください

基本操作（携帯電話と接続するとき）

<p>オモテ面の「基本操作（共通）」も必ずお読みください。</p>

<p>電話をかける（発信）</p>
<p>● 以下に説明する機能は、ハンズフリープロファイル（HFP）およびヘッドセットプロファイル（HSP）でペアリングしたときのみ利用できます。</p> <p>● 携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。</p>

- 電話を発信する**
携帯電話で発信操作のあと、本製品へ切り替えます。
<一般的な操作>
docomoの場合　　発信後に「通話」ボタンを長押しする
auの場合　　　　発信後に「E」ボタンを押す

- リダイヤルする（最後に発信した通話先）**
再生／一時停止ボタンを2秒程度長押しすることで、最後に発信した通話先にリダイヤルできます。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>電話を受ける（着信）</p>

スピーカーから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを押します。

<p>携帯電話によっては、仕様の関係で、着信メロディを設定できない機種もあります。</p>

<p>電話を切る</p>

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押すと、電話が切れます。再生ボタンを長押ししても、電話が切れます。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>電話を切る</p>

付属または市販のφ3.5mmステレオミニケーブルで、本体背面の外部入力端子と接続機器のLINE OUTまたはヘッドフォン端子と接続することで、Bluetooth対応機器以外の音楽をお楽しみいただけます。外部機器使用時は、次の点にご注意ください。

- 外部入力端子に機器を接続すると、Bluetooth機器との接続は自動的に解除されます。
- 本体の操作ボタン（再生／一時停止、音量調整、スキップ／リワインド）は、機能しません。外部機器側で操作してください。
- 外部入力端子に機器を接続している場合は、ペアリング操作はできません。LEDランプは赤色に点灯したままになります。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>取り扱い上の注意</p>

- 正しく安全にお使いいただくために**

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

<p>警告</p>	ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
------------------	---

- 万一、異常が発生したときは、...**
本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。乾電池でご使用の場合は乾電池を取り外してください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

- 高温のまま放置しないでください。**
本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

- 着信音量の設定には十分気をつけてください。**
携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。

- 分解しないでください。**
本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

<p>注意</p>	ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。
------------------	--

- 屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください。**

- 水気が多い場所での使用／保管は行わないでください。**
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

- 小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。**
誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。**

- ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。**
本製品は、携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

- 日本国以外では使用しないでください。**
この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しては一切応じかねますのでご注意ください。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

- その他：こんなことにも注意してください**
 - ・本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。そのため、強い電波が出ている電波塔、トンネルやビルの間などコンクリートなどで遮断された場所、受信感度の悪いカーステレオなどは、ノイズが発生する原因となります。あらかじめご了承ください。
 - ・温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
 - ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ペンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>電波に関する注意事項</p>

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の放射を停止したうえで、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

使用周波数帯域	：2.4GHz
変調方式	：周波数拡散方式 FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離	：約10m（障害物のない場合）
周波数変更の可否	：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>基本仕様</p>		
製品型番	LBT-MPSP100シリーズ（デバイス名：LBT-SP100）	
キャリア周波数	2.402～2.480GHz	
Bluetooth仕様	Bluetooth Ver.2.1	
周波数拡散方式	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)	
伝送距離	Class 2　最大半径 10m（障害物なきこと）*1	
対応プロファイル	HFP, HSP, A2DP, AVRCP	
対応コーデック	SBC, apt-X	
同時使用可能な機器数	通話対応機器×1	
記憶可能なペアリング台数	8台	
連続待受時間	約360時間（新品アルカリ乾電池使用時）*2	
連続通話／再生時間	約5時間（新品アルカリ乾電池使用時）*2	
環境条件	動作時	温度　　5～35℃ 相対湿度　20～80％（ただし、結露なきこと）
	保管時	温度　　－5～＋50℃ 相対湿度　20～80％（ただし、結露なきこと）
入力電圧	DC +9V（ACアダプタ使用時）	
消費電力	13.5W（定格、ACアダプタ使用時）	
定格出力	4.5W＋4.5W	
電池タイプ	単3型乾電池×6（アルカリ乾電池推奨）	
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	215 × 52 × 75mm（突起部分のぞく）	
質量	約256g（ACアダプタ、乾電池をのぞく）	

*1 理論値です。また、距離は、通信対象のBluetooth機器の性能や、周囲の環境に依存して変化します。

*2 アルカリ乾電池（単3型×6本）使用時。通信対象のBluetooth機器との距離が長い場合は、それぞれの消費電力が増加するため、時間が短くなる場合があります。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>	<ul style="list-style-type: none">●2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）との併用は、電波干渉の発生により、利用できないことがあります。 ●本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。
--	--

困ったときは...

- 携帯電話で通話の音声聞こえない**

一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤフォンジャックの音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声聞こえなくなる場合があります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。

- ノイズやエコー音が入る**
ペアリング相手との距離を変えてみてください。音量を調節してみてください。

- 携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない**

一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

- 通話相手に自分の声が聞こえない**

一部の携帯電話では、マイク入力が有効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、本体のマイクからの音声か通話相手に聞こえません。

- 着信前に留守番転送されてしまう**

着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声か転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

- Bluetooth搭載機器とペアリングできない**
 - 機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。
 - ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。

- 着メロが鳴らない**
携帯電話の機種によっては、Bluetoothスピーカー側の着信音に着メロを設定できないことがあります。

- 発信時に使えない**
携帯電話から発信した場合、スピーカ/マイクを本製品に切り替える操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

【一般的な操作】		
docomoの場合	⇒	発信後に、「通話」ボタンを長押しします。
auの場合	⇒	発信後、「E」ボタンを押します。

- 他の携帯電話で利用後、毎回ペアリングが必要になった**
auの場合、ペアリング済みの機器でも他の携帯電話で利用後は、再度ペアリングからやり直す必要がある場合があります。

サポート修理受付窓口のご案内

- 製品に関するお問い合わせ**

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、国外での使用、国外からの問い合わせにはサポートをおこなっておりません。This product is for domestic use only.No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
<p>サポートページ　6409.jp（“http:”は必要ありません）</p>
<p>テクニカルサポート（ナビダイヤル） 0570-022-022 月～土（祝日営業）10:00-19:00　※夏期、年末年始、特定休業日を除く</p>

- お問合せの前に、以下の内容をご用意ください。
- ・弊社製品の型番
 - ・ご利用の携帯電話、iPod、ゲーム機などの型番
 - ・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）
- ※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

- 修理について**
製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。This warranty is valid only in Japan.

製品本体、ACアダプタ以外の付属品*は、保証対象ではありません。付属品問い合わせ窓口へメールにてご相談ください。

http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html
* 付属品の例：ケーブル類など

依頼の手順、修理依頼書（PDFファイル）をインターネットへ掲載しております。また、修理終息製品の検索も可能です。ご利用が可能であればご確認をお願いします。

http://www.logitec.co.jp/support/service.html

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理（製品交換の場合あり）してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない（修理終息）場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 修理ご依頼時の確認事項**
 - ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
 - ・保証期間の有無にかかわらず、ご送付いただく際の送料はお客様負担となります。
 - ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
 - ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
 - ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先（ご住所/電話番号）、故障の状態を書面にて添付してください。

<p>●修理依頼先</p>
〒396-0111　長野県伊那市美すず六道原8268 ロジテック株式会社 3番窓口 エレコムグループ修理センター TEL：0265-74-1423　FAX：0265-74-1403
●電話受付時間月～金　9:00～12:00、13:00～17:00 ※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問い合わせや、修理が必要かどうかのお問合せについては、テクニカルサポートへお願いします。

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--

<p>不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。</p>
--